



最新のERPトレンドと導入アプローチ

フォーティエンスコンサルティング株式会社
ERPラピッドデリバリー担当
作成日：2023年10月25日

変化する時代への適応が求められています

1 最新のERPトレンド



2 導入アプローチ



3 当社が選ばれる理由



最新のERPトレンド

変化する時代への適応

- 企業を取り巻く環境は、長期的に不安定なため、ビジネスの変化・テクノロジーの変化にともなう課題に対して、迅速に対応することが必要となっています。

企業の外部環境

- コロナショック
- 地政学リスク
- 脱炭素
- インフレーション
- 為替変動



長期的に不安定な状況

企業が抱えるシステム課題

- 事業拡大に対応できない
- 海外展開、企業再編によるシステム再構築の必要性
- 老朽化・複雑化・ブラックボックス化
- 最新テクノロジーへの対応
- データが活用できていない
- ITコスト低減



迅速に対応するための解決策

- クリーンコア戦略
- クラウドERPの活用



最新のERPトレンド

クリーンコア戦略の特徴について

- 従来のERPでは、追加開発による影響範囲が大きく、柔軟性や拡張性に欠け、ビジネスの変化には簡単に対応できませんでした。
- これらの課題を解決するための新たな考え方が、次世代ERPを実現するクリーンコア戦略です。



クリーンコア



Image credit and copyright : SAP SE

- 各業務領域で最適なソリューションを採用
- 各業務領域の最適なソリューションを疎結合
- 分散型のアーキテクチャ
- SAPシステム標準を最大限活用する、Fit to Standardの徹底
- 極力アドオン開発を回避
- ビジネスの柔軟性・迅速性・拡張性の向上

最新のERPトレンド

クラウドERPの特徴について

- 国内企業の基幹システムの稼働状況について、クラウドを採用する企業の比率が年々高まっています。
- クラウドERPは、ハードウェアが不要になり、インターネット接続があればどこからでもアクセスでき、スケーラビリティに優れています。
- SAPがクラウド上で管理するSaaSソリューションとして、SAP S/4HANA Cloud, public editionの特徴をご紹介します。



クラウドERP



- 最新テクノロジーの活用により、ビジネスを継続的に改善
- ベストプラクティスの徹底による、ビジネスプロセスの効率化
- データの可視化、アナリティクスの強化
- 短期間・低コストでのシステム導入の実現
- 保守運用にかかるコストの削減
- データセンター／サーバー等の固定費を変動費化

最新のERPトレンド

SAP S/4HANA Cloud, public editionとオンプレミスの比較

- クラウドERPの理解を深めるために、パブリッククラウドとオンプレミスと比較してご説明します。

	パブリッククラウド	オンプレミス
最新技術の反映	<ul style="list-style-type: none">半年に1回バージョンアップ最新技術・機能の反映	<ul style="list-style-type: none">バージョンは購入時に固定化最新技術・機能を利用できない
業務の効率化	<ul style="list-style-type: none">ベストプラクティスを重視SAP ERPの業務シナリオの適用	<ul style="list-style-type: none">顧客要件を重視自社固有の業務とプロセス
業務の変革	<ul style="list-style-type: none">最新技術の活用継続的な業務のイノベーション	<ul style="list-style-type: none">導入時の業務で固定化10年・20年同じ業務を行う
柔軟性・自由度	<ul style="list-style-type: none">柔軟なシステム利用範囲の縮小・拡張が簡単	<ul style="list-style-type: none">固定化したシステム利用範囲を簡単に縮小・拡張ができない

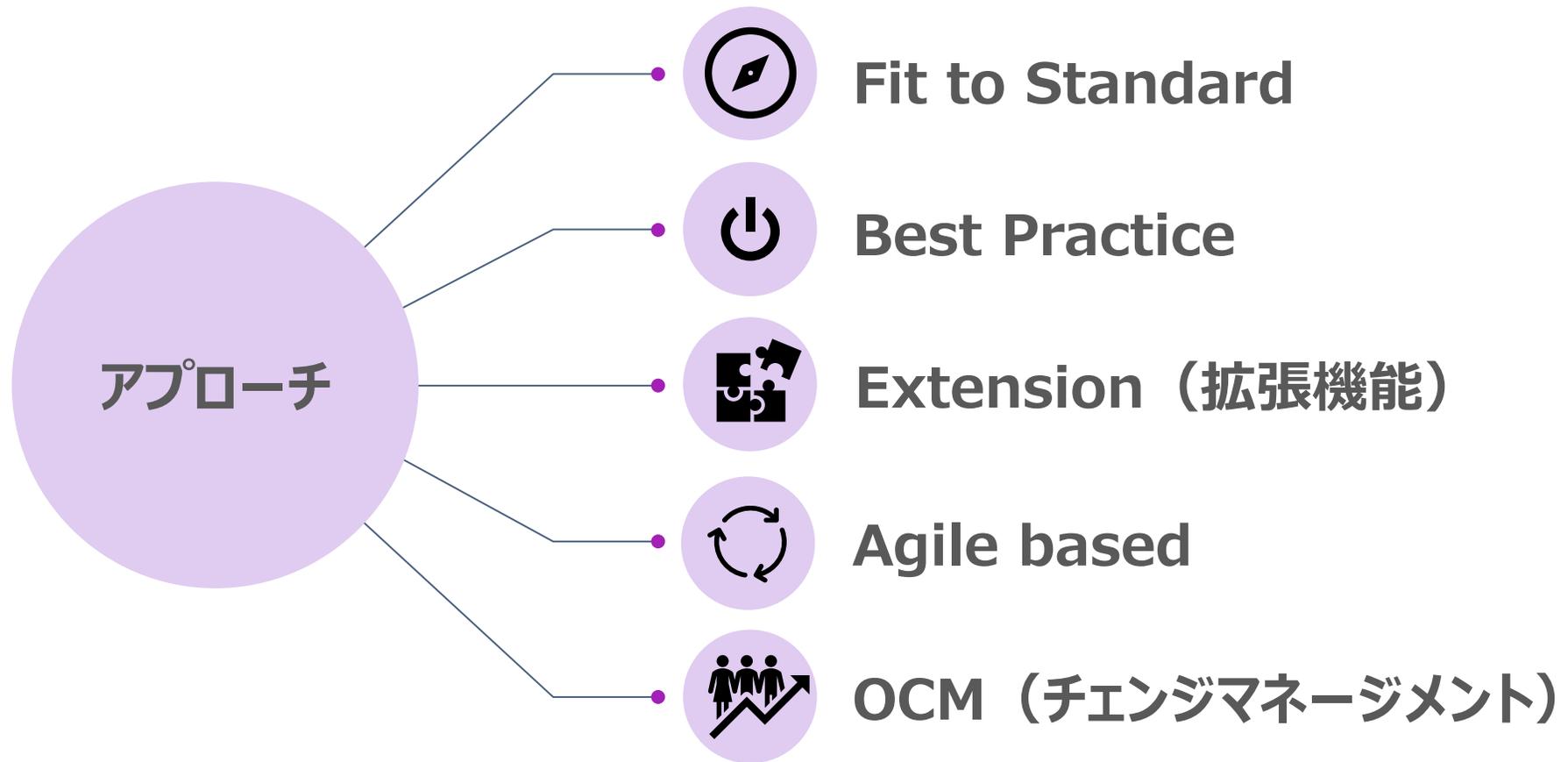
変化の激しい経営環境

安定的な経営環境

導入アプローチ

最新の導入アプローチについてご紹介

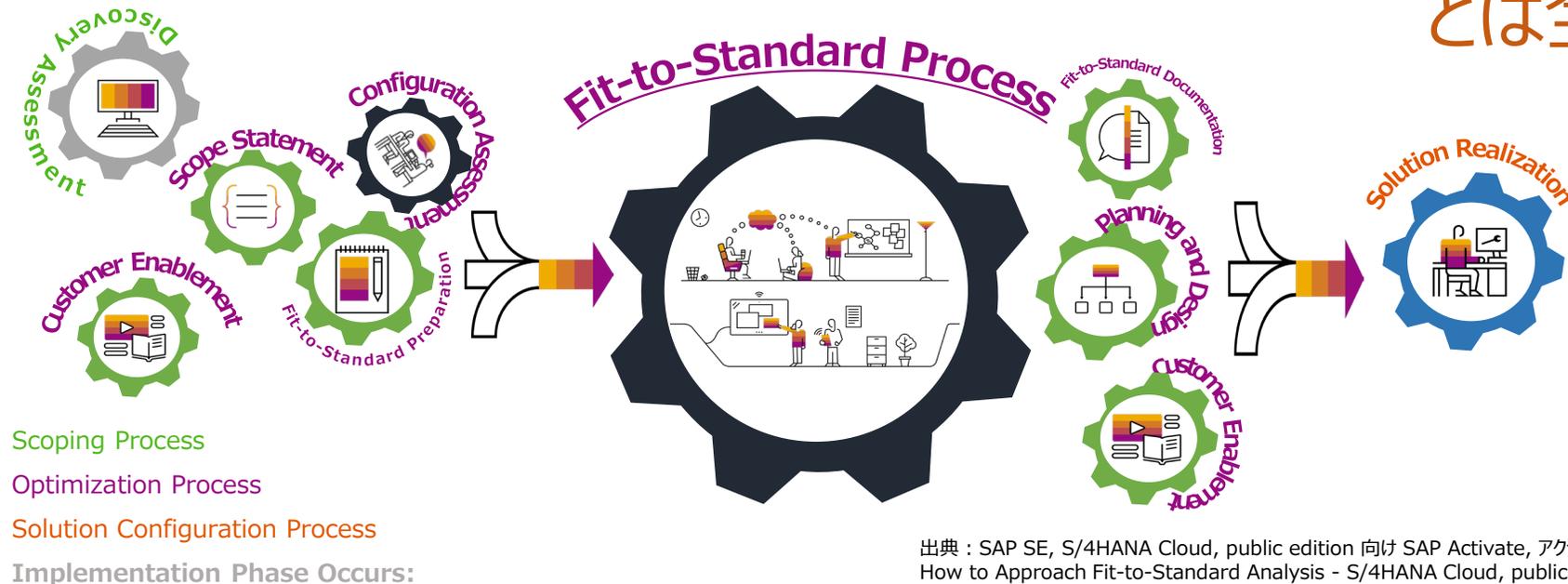
- クラウドERPを導入する際は、従来のアプローチのままではスムーズに導入することはできません。
- クリーンコア戦略実現のために、最新のSAP導入アプローチを採用する必要があります。
- 最新のSAP導入アプローチには、5つの重要なポイントがあります。



導入アプローチ

Fit to Standardとは

“Fit & Gap”
とは全く違う



- SAP ERPの業務シナリオ（ベストプラクティス）とソリューションに適合させることで、短期間でのシステム導入を実現します。
- 従来よりもさらに標準機能を活用した業務プロセス実行が求められるため、顧客側でのFit to Standard アプローチの理解と賛同が必要となります。

導入アプローチ

Best Practice

□ ベストプラクティスごとに“有効化”
ベストプラクティスの単位で有効化することで、
SAP ERPの業務シナリオとソリューションを利用できます。



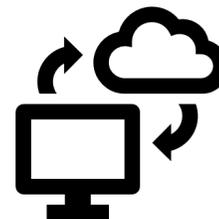
Extension

□ 容易な機能拡張
SAP S/4HANA Cloudソリューションは、クリーンコアを担保しつつ、
顧客の要件に応じた拡張手段を採用することが可能です。

In-App拡張
(キューザ拡張)



Side-by-Side拡張



ABAPによる
カスタム機能拡張



導入アプローチ

Agile Based

□ アジャイルアプローチ

これまでのERP導入については、プロトタイプアプローチと呼ばれる開発手法が取られてきました。

クラウドERPの導入については、アジャイルアプローチの開発手法を採用することが一般的となっています。

OCM(Organization Change Management)

□ 組織的なチェンジマネジメント

クラウドERP導入の際には、その特徴に合わせて、システムを導入するだけでなく、組織的にチェンジマネジメントを行うという意識改革が重要となります。



当社が選ばれる理由

- SAP AWARD OF EXCELLENCEの受賞など、当社の実績は高い評価を受けております。
- クラウドERPの導入とクリーンコア戦略の実現に向けた、当社のコンサルティングサービスには3つの強みがあります。



あらゆる規模の
ビジネスに対応



先進的な取り組みにより
クリーンコアを実現



システムと業務を
並行して変革

SAP AWARD OF EXCELLENCE受賞実績



当社が選ばれる理由



あらゆる規模の
ビジネスに対応



先進的な取り組みにより
クリーンコアを実現



システムと業務を
並行して変革

あらゆる規模のビジネスに対応

- 小規模のベンチャーから数千人以上の大企業、グローバル企業のさまざまな課題を解決してきました。
- 企業規模に応じた業務標準化・システム設計のシンプル化のノウハウがあります。
- **PrivateクラウドとPublicクラウドの特徴をよく理解し**、企業のニーズに合わせた提案ができます。
- クラウドERPの導入においても実現できる独自のソリューションを提供します。



当社が選ばれる理由

先進的な取組によりクリーンコアを実現

□ クラウドソリューション

- SAP S/4HANA Cloudソリューションについて、早くから取り組んできました。
- **RISE with SAPに加え、GROW with SAPについても対応できる強みがあります。**
- SAP Analytics Cloudを活用して、データの可視化とデータ分析にも取り組んでいます。



あらゆる規模の
ビジネスに対応



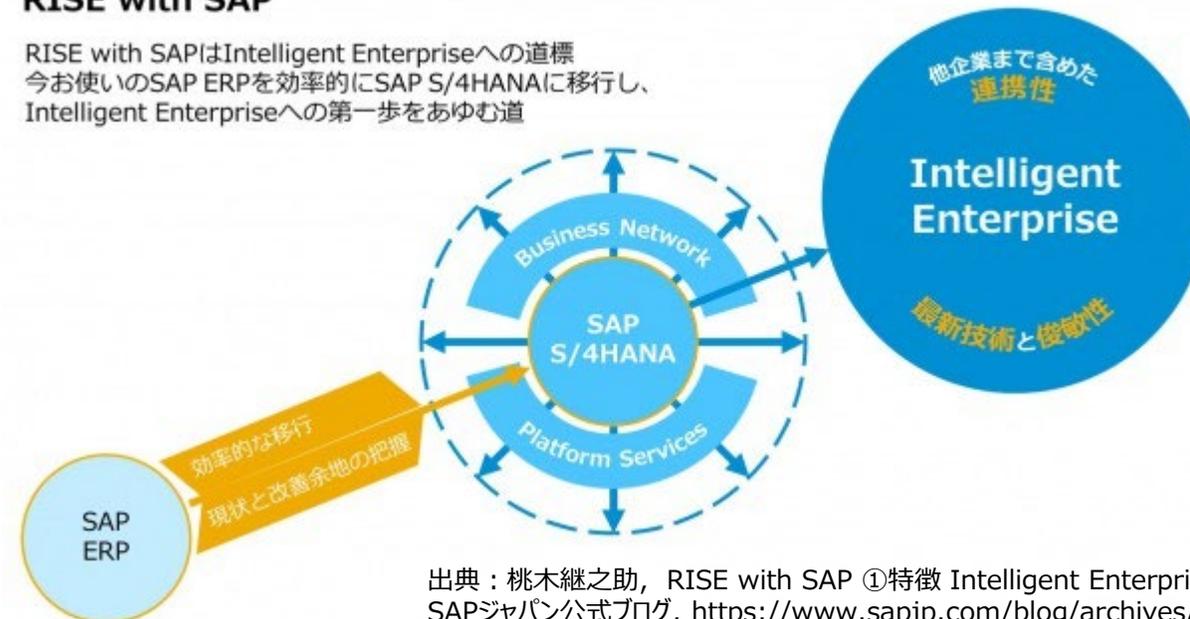
先進的な取組みにより
クリーンコアを実現



システムと業務を
並行して変革

RISE with SAP

RISE with SAPはIntelligent Enterpriseへの道標
今お使いのSAP ERPを効率的にSAP S/4HANAに移行し、
Intelligent Enterpriseへの第一歩をあゆむ道



出典：桃木継之助, RISE with SAP ①特徴 Intelligent Enterpriseへの道標
SAPジャパン公式ブログ, <https://www.sapjp.com/blog/archives/34575> (参照2023年10月25日)

□ 最新テクノロジー

- APIやSide-by-Side拡張を活用して、追加開発や既存SAPシステムに変更を加えることなく、独自のソリューションを構築することが可能です。

当社が選ばれる理由



あらゆる規模の
ビジネスに対応



先進的な取り組みにより
クリーンコアを実現



システムと業務を
並行して変革

システムと業務を並行して変革

- 当社は、SAP導入に関連するさまざまなサービスを提供しています。
- **経営課題の解決からシステムの導入、そして業務改革まで、幅広いサポートが可能です。**
- これにより、顧客はビジネスの変革を安心して推進できます。

Rapid, Simple, Innovate.

クリーンコアにもとづき、短期間でビジネスを変革します。

改訂履歴

2023年10月25日 | 初版公開

2025年10月01日 | 株式会社クニエから、フォーティエンスコンサルティング株式会社へ社名を変更したため、社名や会社情報、ブランド情報を変更

FORTIENCE
CONSULTING

お問い合わせ先

Fortience Consulting Inc.

info@fortience.com
03-3517-2292
www.fortience.com